



# きたがた 議会だより

No.147  
平成24年8月1日



バリアフリー化が進む町道3号線(グリーン通り)

## contents

町道3号線等道路改良工事の全線設計費予算が決定 ……2

一般質問 ……4

議会の動き ……8

発行/北方町議会

編集/議会だより編集委員会 岐阜県本巣郡北方町北方1323-5 TEL(058)323-1117

URL/http://www.town.kitagata.gifu.jp

この議会だよりは再生紙を使用しています。

# 町道3号線等道路改良工事の 全線設計費予算が決定

## 設計業務委託料 5100万円

平成24年  
第2回 定例会

平成24年第2回議会定例会が6月25日から28日までの4日間の会期で開催されました。

町長提出の条例・予算など議案等6件と議員提出の意見書3件が原案のとおり可決され、5人の議員による一般質問が行われました。

### 専決処分の承認

平成24年4月1日に施行するため専決処分を行ったものです。

#### ・町税条例の一部改正

(地方税法等の一部改正によるものです。)

- ・ 中部圏都市開発区域の指定に伴う固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

(固定資産税の不均一課税の適用期限を延長するものです。)

- ・ 国民健康保険税条例の一部改正

(東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係

る譲渡期限の延長の特例を加えるものです。)

### 補正予算

#### 一般会計

2715万6000円を追加し、予算の総額を56億9715万6000円とするものです。

#### 主な歳出

- ・ 町道3号線他道路詳細設計業務委託

1860万円

- ・ 町道381号線道路詳細設計業務委託

2200万円



町道3号線道路改良工事は、平成23年9月定例会において、工事費7290万円の予算が決定され、芝原地区850mの工事が行われています。

今年度は、新たに町道3号線等(通称グリーン通り)4100mの内3250m及び町道381号線全線の設計業務委託を行うことになりました。



町道381号線

- ・ポリオ予防接種委託料 980万8000円
- ・勤労青少年ホーム屋根改修工事 700万円
- ・西小学校施設改修工事 110万2000円
- ・総合体育館施設改修工事 142万1000円

査となっていました。24年5月21日厚生都市常任委員会の審査結果、賛成1名・反対3名で不採択すべきものとなり、6月本会議で採決の結果、賛成3名・反対6名で不採択となりました。

**下水道事業特別会計**

1000万円を追加し、予算の総額を6億4828万2000円とするものです。

- ・下水道台帳整備業務委託 1000万円

新たな「人権侵害救済機関」を設置する法案の国会提出に反対する請願

総務教育常任委員会に付託審査の結果、全員賛成で採択すべきものとなり、本会議で採決の結果、全員賛成で採択となりました。

**請願**

審査結果は次のとおりです。

**子供の医療費無料化の拡大を求める請願書**

昨年の12月定例会で厚生都市常任委員会に付託され、財政的な裏付けや議論・調査等を要するため継続審

消費税増税に頼らず社会保障と財政の立て直しを求める請願

総務教育常任委員会に付託審査の結果、賛成1名・反対3名で不採択すべきものとなり、本会議で採決の結果、賛成1名・反対8名で不採択となりました。

**議員提案**

本会議最終日に議員から提出された発議案は、次の結果となりました。

「人権侵害救済法案」の国会提出に反対を求める意見書

「提出議員」立川良一議員  
ほか4名

「結果」全員賛成により可決

原子力発電再稼働に関する緊急要請

「提出議員」鈴木浩之議員  
ほか1名

「結果」全員賛成により可決

「社会保障と税の一体改革」に関する意見書

「提出議員」井野勝己議員  
ほか1名

「結果」賛成8名により可決

これらの意見書は内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

**第2回議会定例会 議案等の審議結果** (○…賛成 ×…反対)

審議案件	杉本	安藤(哲)	安藤(蔵)	鈴木	安藤(浩)	伊藤	立川	戸部議長	井野	日比
専決処分の承認(税条例の改正)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
専決処分の承認(中部圏都市開発区域の指定に伴う固定資産税の不均一課税に関する条例の改正)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
専決処分の承認(国民健康保険税条例の改正)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成24年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
もとす広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
子どもの医療費無料化の拡大を求める請願	×	○	×	×	×	○	×	—	×	○
新たな「人権侵害救済機関」を設置する法案の国会提出に反対する請願	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
消費税増税に頼らず社会保障と財政の立て直しを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	—	×	○
「人権侵害救済法案」の国会提出に反対を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
原子力発電再稼働に関する緊急要請	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
「社会保障と税の一体改革」に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、  
町長の考えや町政をただす大きな「武器」です。

# 5人の議員が町政を問う

## 町道及び生活道路の 交通安全対策を



安藤哲雄議員

**問** 生活道路では速度規制が無く、法定速度の時速60kmが速度制限となっており、非常に危険な状態となっている。早急に時速30km又は40kmの速度規制を設けるなどし、標識の設置などの対策を取るべきと思うが、どう考えるか。

**答** 総務課長

現在、北方警察署では区域によるゾーン規制等生活道路の速度規制をかける方針はないようです。

町としては生活路線の把握を行い、岐阜県警へ要望を行っていくとともに歩行者の安全対策に配慮した道路整備を実施していきます。

**問** 町道3号線のバリアフリー化工事は、歩道と車道の縁石を無くし2〜3メートル間隔でポールを立て木を植える。これで本当に歩行者の安全を守れるのか疑問である。歩道と車道を分離することが必要で、横ポール状のガードレールを設置してはどうか。

**答** 都市環境農政課技術調整監

グリーン通りの安全対策は、歩道と車道の境界にポールを設置することで歩車道の境界をはっきり区別しています。

ポールに蛍光テープを貼ることで、夜間でも運転者が歩車道の境界を認識しやすく、車道は排水性舗装をすることで雨天時のスリップ防止や夜間の対向車のライトの路面からの反射を抑えられ、視認性を向上させています。

**問** 町道3号線北部地区には速度規制看板が2ヶ

所しかなく、速度制限40kmを認識しないで走行するドライバーが多い。規制看板の設置はできないか。

**答** 総務課長

また、北方斎場交差点は交通量も多く、信号機が無いため非常に危険である。カラー舗装と信号機の設置が望ましいと思うが、どう考えるか。

速度規制標識は交通規制基準の中で設置間隔の基準が設けられおり、この中で設置を行っています。

信号機の設置については地区公安委員会に要望を行ってきたところ、未だ結実しておりません。今後交渉を続けていきます。

カラー舗装については、排水性舗装の機能が失われることや景観上の問題等で導入を差し控えたいと思います。



## 高齢になっても 孤立しない社会を 築いていく取り組みは



安藤浩孝議員

**問1** お年寄りや働き盛りの人、子どもも交ざり合っ  
て暮らす地域共同体の構築の考えは。

**答** 福祉健康課長

現在、岐阜県のモデル事業としてハイタウンAの集会場において赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃん、地域の皆さんが立ち寄れる場所として「ひなたぼっこくらぶ」が開設されています。

この事業を検証し、有益な

部分について効果的に町全体に広げられる仕組みを作りたいと考えています。

**問2** 昨年7月に結成された「高齢者見守りボランティア」の活動状況と、見守り対象拡大の考えは。

**答** 福祉健康課長

見守りボランティアの23年度の活動状況として、ボランティア登録者数12名、見守り希望対象者38名、見守り回数276回。郵便物がたまっていないか、声かけなど対象者の希望に合わせ実施しています。

対象者拡大については、今年7月に見守り台帳更新の際、現在75歳以上から70歳以上に広げるなどを検討しますが、ボランティアに参加される方が少ないのが現状で、ボランティアの養成に力を入れていきたいと考えています。

**問3** 県営住宅入居者への安否確認対応マニュアルはあるのか。

**答** 福祉健康課長

町としては、見守り台帳の

整備を行い、独居で希望者については町でカギを預かるなどの対策と本巢消防事務組合とも連携を図っています。

**問4** 高齢者安否確認の方法として、スマートホンの導入や電気・ガス等の検針業務との見守り協定を結ぶ考えは。

**答** 福祉健康課長

スマートホンの導入については、固定電話の設置が少なくなりつつある現状においては、有用な手段として研究していきます。

新聞販売店等との見守り協定について、北方町では平成12年度に「早期通報モニター制度」を構築し、安全で住みよい地域社会の実現を目指しましたが、実績が上がらなかったこと、PHSの基本料金がかさむことなどがあり、PHSが廃止されるのを機会に22年度で制度を廃止した経緯がありますが、今後、高齢者が安心して暮らしていけるネットワークづくりの一つとして前向きに検討していきます。

**問** 災害時における住民への情報伝達として、携帯電話に一斉配信する「緊急速報メール」や行政からの情報を受信できる「防災ラジオ」の導入の考えは。

**答** 総務課長

緊急速報メールについては、

当町でも活用すべきものとして現在調整を図っています。導入運用については、広報やホームページ等で周知し、万全の体制で臨みたいと考えています。

**問** 大飯原発の再稼働を含め、今後のエネルギー政策と節電対策は。

**答** 町長

大飯原発の安全根拠なしの再稼働は「国民のいのちよりも金儲け大事」という醜い思想だと思えます。原発に頼らない生き方こそ私たちが子々孫々へと引き継ぐ最大の責務であります。

自然エネルギーの追求、新型発電設備(GITC)の活用と共に電力会社の独占をやめ、

独立系発電事業者(IPP)の売電を自由にするなどして脱原発をめざすことが必要です。節電対策として、町民の皆さんへ呼びかけてご協力いただくようにし、庁内では、極力消灯に努め、電気器具など順次エコ製品への取替を進めています。

## 防災士資格取得の推進と助成を



杉本真由美議員

に実践できる防災リーダーの育成はどのように取り組まれているか。また、防災士資格取得の推進と助成の考えは。

**答** 総務課長

防災リーダーとして考えられる人材として、消防団員が、地域に密着し活動内容は実践的で消火活動のみならず震災対策等多岐にわたります。そうしたことから、消防団員経験者を増やすことが重要と考え、来年度以降消防団員の増員を検討しています。

防災士資格取得の助成については、まちづくり活動助成事業の活用を検討しているかがでしょうか。

**問** 学校は、いざ災害が起こったとき子どもたちだけでなく、地域住民の命を守る重要な防災拠点となります。学校施設の非構造部材(天井や照明器具、壁等)の耐震点検は実施されているか。

その結果、耐震対策の必要程度と対策は。

**答** 教育課長

**問** 地域防災力向上のためには、防災に対して十分な意識と知識・技能を身につけた人が中心となり対策を講じることが大切です。自助・共助の活動と災害時



日比玲子議員

## 町の商業の発展について どう考えているか

学校保健安全法により施設及び設備の安全点検は実施しています。

東日本大震災後、文科省から「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」に沿った点検実施に努めるよう通知があり、教育委員会では、学校に点検チェックリストを配付し、夏休みを利用して点検するように指示しています。

その結果、緊急性のあるものについては、専門家の意見等を参考に対策を講じます。

**問** 県内商工会でも会員数が減少していると新聞掲載されました。町の商工会員も減少しており高齢者が多くなっています。

特に商店街の発展についてどう考えているか。

**答** 町長

商いの大小ではなく、意欲的に取り組む積極性が必要で、大切なことは、商売に対する意欲をどれだけ持っているか、また、消費者のニーズをとらえ、分析研究をする、「売り手よし」「買い手よし」に加え、社会貢献の「世間よし」の理念ではないでしょうか。

行政として、商店街発展のため環境づくり等できるだけ応援していきたいと考えています。

**問** 転出者のリサイクルセンター入場券は回収されているか。

**答** 都市環境農政課長

転出される住民の方については、各自で処分していただいている状況ですが、今後

は入場券の不正使用防止のために回収に努めます。

**問** 防災対策と対応は

問① 備蓄倉庫に食料を備蓄してはどうか。

**答** 総務課長

大震災の教訓から、飲料水500mlのペットボトルを3000本、緊急食糧としてクラッカー2400缶を町内4カ所の備蓄倉庫に配備しています。

**問** ② 防災無線が聞こえない地域がある。点検をし、正確に情報伝達できるように改善を。

**答** 総務課長

8月に調査を実施する予定で、その結果、今後の対策を検討します。

**問** ③ 下水のマンホールに設置する仮設トイレは、使用の際には道路の中で自動車が行き交うため危険では。

**答** 総務課長

仮設トイレは4カ所の防災備蓄倉庫に15基配備して

おり、昨年の防災訓練時に設置訓練を行いました。

**問** ④ 町では5つの避難エリアがあるが各避難所には何人収容できるか。

**答** 総務課長

地域防災計画において町内16カ所の公共施設を避難所として指定しています。

第1エリアは1カ所で296人、第2エリアでは7カ所で4425人、第3エリアでは4カ所で1608人、第4エリアは1カ所で430人、第5エリアは3カ所で2211人となっています。

**問** ⑤ 町の標識・看板等災害時には倒れたりして危険である。調査点検等を実施し管理しているか。

**答** 総務課長

昨年点検を行い、それぞれの台帳にまとめ、パトロール活動を通じ点検を行い、適宜取替修繕を実施しています。

**問** 老人福祉計画作成時のアンケートから地域包括支援センターの名前を

知っているのは、39.2%です。広報等で啓発していく必要がある。

また、サービスのあり方や相談業務等の年間を通じた事業を実施する考えは。

**答** 福祉健康課長

地域包括支援センターは、介護予防や介護が必要になった方々が訪れる施設のため、元気な方には認知される機会が少ないと考えます。これから介護が必要になるであろう高齢者の方々には折に触れ啓発を行っていきます。

サービスのあり方については、アンケート調査で高い利用希望となっている項目が「老人施設の整備」「緊急時の



地域包括支援センター

通報システムの設置「通院のための交通手段の支援」等で、他市町のサービス状況を確認し、きめ細かなサービスができるよう心掛けていきます。

## 災害対策と要援護者支援の対応は



伊藤経雄議員

当町では、県と同様に防災計画の抜本的見直しを進めています。

図上型防災訓練については現在、実施の経験がなく、ノウハウはないに等しい状況です。今後、手法について研究を重ね、実施可能なものがあれば、防災訓練に取り入れることを考えていきます。

**問** 支え合う地域の絆が希薄な今日、障害者避難支援が必要だと考える。プライバシー保護に配慮した支援者マップの作成は。また、民間福祉施設との連携も必要ではないか。

**答** 福祉健康課長

今年度から重度障がい者に対して、個々に「見守り台帳への登載について」の案内をして、了解を得られた方については民生委員児童委員の方に訪問していただく計画をしています。

支援者マップについては、要支援高齢者と同様に作成します。民間施設との連携について

は、もともと広域管内に障がい者施設がないことから連携先がなく、今後、北方町防災計画の見直しの中で、バリアフリーが整った町有施設を福祉避難所に指定し、避難支援計画を考えていきます。

**問** 原発事故が起きた場合、放射性物質の飛来に対する影響と対策の考えは。モニタリング検査が必要では。また、ヨウ素剤の備蓄の考えは。

**答** 総務課長

放射能のモニタリング検査については、岐阜県が県内10カ所で空間放射能測定を行っています。町では空間放射能測定機を導入しています。ヨウ素剤の備蓄については、今後、災害時に必要とされるヨウ素剤の分量や確保方法について検討していきます。

**問** 子ども自立支援事業の取り組み方について  
**問**①トータルサポート事業とは。

**答** 教育長

障害のある幼児の早期発見・早期支援を行うことで、幼児が小学校生活を円滑に送ることができるようになることを目的にしています。  
**問**②通級による指導教室の設置は北方町においても要望があるのでは。前向きに検討を。

\*通級による指導教室とは各教科の指導は主として通常の学級で行い、個々の障害に応じた特別の指導を特別の場で行う形態

**答** 教育長

比較的小さい言語障害や情緒障害、難聴や学習障害などの子どもを対象として自立活動や学習強化のための補充指導を行う教室です。昨年度、この教室の新設が見送られました。本年度も新設に向けて取り組んでいます。



**問** 小中学校での不登校、いじめの状況は。

**答** 教育長

平成24年度6月現在の不登校状況は、小学校6人、中学校12人です。

**問** いじめに関しての認知件数はありませんか。

**答** 福祉健康課長

毎年発生件数としては3〜4件で、主に身体的虐待でネグレクト(育児放棄)も見受けられます。

**問** デイサービスセンター、円苑の利用状況は。コミュニティサポートとは。

**答** 福祉健康課長

コミュニティサポートは、要介護状態への進行を防ぐことを目的に介護保険制度外サービスとして実施しています。

円苑の利用状況としては、毎日23名の定員のところ、約20名の利用となっています。

5月23日に宮崎県高鍋町  
議会議員他8名が「議会基  
本条例、議会運営、議会改  
革の取組」などの視察研修  
に来庁され、交流を深めま  
した。



## 県知事表彰を受賞



永きにわたり町議  
会議員として、自治  
の振興発展に寄与さ  
れた功績が顕著であ  
ることから、立川良  
一議員が県知事表彰  
(市町村行政)を受  
賞されました。

## 議会の動き

### 4月

17日・議会だより

編集委員会

18日・例月出納検査

### 5月

1日・定期監査

8日・子供の医療費無料化  
の拡大を求める請願  
書について意見交換会

・厚生都市常任委員会

協議会

17日・例月出納検査

21日・厚生都市常任委員会

22日・例月出納検査

23日・宮崎県高鍋町議会

28日・本巣消防事務組合

29・30日・全国正副議長

1日・県町村議会議長会

もとす広域連合

臨時議会

6月

1日・県町村議会議長会

もとす広域連合

臨時議会

6日・定期監査

11日・議会運営委員会

18日・厚生都市常任委員会

19日・総務教育常任委員会

21日・例月出納検査

25日・議会運営委員会

28日・議会運営委員会

29日・決算審査(上水道)



## 編集後記

去る5月に「北方まつり」  
が2年ぶりに実施され、賑わ  
いを呈しました。町の雰囲気  
は、いやがうえにも盛りあが  
り、その醸し出す一体感はや  
はり最高でした。

5月21日の金環日食は、9  
32年ぶり、宇宙の不思議さ  
と感動の一時でした。更には金  
星の太陽面通過もありました。

また、世界一高い電波塔の  
東京スカイツリーが開業し、  
新たなランドマークとして世  
間の話題を集めました。

天体ショー(自然力)と人  
間の英知(人間力)この調和  
は我々の永遠のテーマかも知  
れません。

秋には「ぎふ清流国体」が  
開催され、多くの人々が各地  
に集うことでしょう。こんな  
機会に「わが町北方」を是非  
アピールしたい。決して淀む  
ことのない時の流れの中で、  
小さな町でもキラリと光る存  
在感を誇示したい、そんな思  
いかられたりしております。

議会だより編集委員  
鈴木浩之

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です

傍聴の手続きは、議事  
事務局で住所と氏名を記入す  
だけです。関心のある方は、  
お気軽にお越しください。

